

【リハビリ】 大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考
1 全般	1 全般	1 リハビリ業務の診療行為、単位数の管理ができること			
		2 リハビリ対象患者の情報管理ができ、リッシュ内のプロフィール機能でデータ化が可能なこと			
		3 セキュリティ面に配慮したシステムであり、部外者が安易にシステムを起動できないこと			
		4 外来患者への対応ができること			
		5 各入力項目で検索機能をもつこと			
		6 全ての印刷帳票にプレビュー機能があること			
		7 診療報酬改定の際にバージョンアップで対応できるシステムであること			
		8 点数改定、項目追加等はマスタ（算定マスタ、行為マスタ）の設定変更のみで行えること			
		9 リモートメンテナンスにてトラブル対応可能なシステムであること			
		10 365日保守体制を取り、トラブル時に迅速な対応ができること			
		11 複数台数でのデータ連携、管理ができること			
		12 クライアント端末50台以上での稼働実績があること			
		13 レスポンスを重視する為、メインのシステムはクライアントサーバタイプで構築されること			
		14 各クライアント端末には全てPT/OT/STが使用するシステムが入っていること			
		15 システム更新時、どのシステムへもデータを移行できるようにするためのデータ変換及び抽出費用を含むこと。			
		16 スタッフのタスク管理としてTODO機能を有し、スタッフ別に担当患者の「氏名、疾患名、起算日、算定期限、計画書作成管理、目標設定シート作成管理、次回予約日、当日予定スケジュール、スタッフ間の申し送り」を一覧化して確認できる事。			
		17 TODO確認画面から「計画書作成管理、目標設定シート作成管理」の欄を押下することで直接編集画面へ遷移できること。			
		18 ログイン者毎にTODO機能のログイン時の最前面表示設定が変更できること。			
		19 IPA（国際音声字母）の入力ができること			
2 利用者認証、ログイン	1 利用者ID認証、使用制限	1 利用者毎にID、パスワードが設定できログインチェックがかかること			
		2 ユーザー自身によるパスワードの設定が常時可能であること			
		3 パスワードポリシー設定により、文字数上限、下限や有効日数、必須文字設定などで制限できること。			
		4 設定により使用プログラム、作業の制限ができること			
		5 制限ユーザー、標準ユーザー、システム管理者の3区分の設定ができること			
		6 マスタ内でプログラム使用権限およびその他の制限事項のチェックができること			
		7 シングルサインオンに対応できること			
3 メッセージ機能	1 メッセージ機能	1 画面上部にメッセージ送信機能を有し他のスタッフへメッセージ送信できること			
		2 メッセージを受信した際には赤く点滅しメッセージの受信を知らせること			
		3 上記メッセージについては、未読メッセージの件数まで表示すること			
		4 メッセージ送信の際には宛先及びスタッフを選択できること			
		5 送信一覧を有し、「宛先」「メッセージ」「送信日」「送信時間」を表示すること			
		6 メッセージ既読のチェックボックスを有しチェックの付外しが行えること			
		7 予約表画面から、メッセージ機能が使用できること			
		8 メッセージの送信ボタンが「送信」「送る」など分かりやすい標記となっていること			
4 患者情報	1 患者マスタ	1 患者に関する郵便番号及び住所、電話番号の入力ができること また、予備の住所、電話番号欄が存在し、管理できること			
		2 マスタ内で全患者一覧が参照できること			
		3 ダブルクリックにて、ID、カナ、氏名で検索ができること			
		4 担当患者から選択できること			
		5 全患者一覧のID、氏名、カナ、性別、生年月日、年齢、現学年の項目でソートが可能なこと			
		6 患者登録内容が即時に反映されること			

【リハビリ】 大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考
	2 担当者	1 担当者が履歴で管理できること			
		2 担当者を日付管理できること			
		3 担当者の変更ができること			
	3 プロファイル管理	1 患者のプロファイル情報を管理できること			
		2 プロファイル項目は、マスタ管理されていること			
		3 プロファイル項目は、一覧からの選択、ワープロ入力、カレンダーからの日付入力ができること			
		4 プロファイル情報参照時、更新日、更新時間、更新者が表示されること			
		5 患者プロファイル情報を印刷できること			
		6 全角1000字以上入力できること。			
5 職員情報	1 スタッフマスタ	1 スタッフマスタについて随時入力、変更が可能なこと			
		2 勤務の開始日、終了日が入力でき、スケジュールや実施画面上に反映できること			
		3 グループ（回復期、一般、外来等）の設定が行えること			
		4 実施登録画面、スケジュール画面での表示順番が随時変更できること			
		5 スタッフ毎に処方箋入力が可能か不可能かの選択制限が可能なこと			
	2 スタッフ出勤表	1 スタッフの出勤表が存在し随時入力、変更できること			
		2 当月以前、当月以降の出勤表の作成が、繰越処理を行わずにできること			
		3 当日の合計（日勤何名、午前出勤何名等）が表示されること			
		4 指定月1ヶ月のスタッフ毎の出勤状況の区分合計（日勤、午前出勤等）が表示されること			
		5 午前出勤、午後出勤等の区分で選択入力でき、スケジュール及び実施画面などに勤務時間の反映が可能なこと			
		6 時間単位の休暇を反映できること			
		7 スケジュール及び実施画面にて当日のスタッフの出勤状況が表示されること			
		8 スタッフ出勤表の入力に関しては、カレンダー表示の部分をドラッグする事により一括入力可能なこと			
		9 業務日誌にスタッフの出勤状況が反映されること			
		10 勤務予定表作成の条件は、1日に必要な出勤人数の下限や連続勤務の禁止パターン等を条件設定することができ、条件考慮する形で勤務予定表を自動作成できること。			
6 リハビリ処方箋	1 処方内容	1 新規、修正、削除があり、発行履歴が管理できること			
		2 登録権限を職員毎に設定できること			
		3 診察日、診察者の選択入力ができること			
		4 処方項目（障害名、治療目標、禁忌等）をマスタにて管理できること			
		5 指示区分（理学療法、作業療法、言語療法等）を複数同時に登録できること			
		6 指示区分（理学療法、作業療法、言語療法等）毎に、開始日、担当セラピストの入力ができること			
		7 指示区分（理学療法、作業療法、言語療法等）毎に、備考欄の入力（訓練場所など）ができること			
		8 指示区分（理学療法、作業療法、言語療法等）別に指示項目（訓練プログラム等）を選択できること			
		9 指示項目（訓練プログラム）毎にコメントの入力ができること			
		10 発行回数が常時参照できること			
		11 回数及び発行日が一覧表示でき、新規発行分から順に表示できること			
		12 印刷が可能なこと			
		13 ADL（BI、FIM）の評価結果履歴を同一画面で確認できること			
	2 病名情報	1 病名を履歴で管理できること			
		2 診察日、診察医が登録できること			
		3 病名は、コード、カナ、名称、ICD10で検索でき、かつ手入力も可能なこと			
		4 1病名に対して、疾患区分（脳血管、運動器、呼吸器、心大血管、障害児等）が選択できること			
5 1病名に対して、対象区分（理学療法、作業療法、言語療法）の選択ができること					

【リハビリ】 大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考					
		6	1病名に対して、1つ以上の手術名が入力できること							
		7	手術名は、コード、カナ、名称で検索でき、かつ手入力も可能なこと							
		8	1病名に対して、発症日、手術日、治療開始日、急性増悪日及び起算日の管理が行えること							
		9	疾患区分と起算日から算定上限日が自動計算されること							
		10	疾患区分と起算日の理由（発症日、手術日等）から、加算起算日が自動計算されること							
		11	算定上限を超えた場合でも、病名毎に13単位の制限を外すことができること							
		12	病名毎に、加算算定期限内でも自動発生させない設定ができること							
		13	1病名に対して、急性発症した脳血管疾患かどうかの判別ができること							
		14	既往歴のフリー入力ができること							
		7	スケジュール	1	全般	1	1分単位でのスケジュールが作成可能なこと			
				2		2	枠（20分等）単位での入力ができること			
				3		3	枠設定は、マスタにて変更が可能なこと			
				4		4	予定場所の入力がマスタから選択入力できること			
				5		5	予定行為が選択できること			
		6		6	予定単位が入力できること					
		7		7	予定時間が単位数と連動していること					
		8		8	予定時間が他セラピストと重複した場合、警告が表示されること					
		9		9	セラピスト、患者などのタイムスケジュールが1画面で視覚的に分かりやすく確認できること					
		10		10	カルテ記事の記載日が予定表に表示（特定の印の表示等）されること					
		11		11	表示画面と同様の書式でスケジュール表の印刷ができること					
		12		12	リハビリ以外の予約登録（会議など）を登録できること					
		13		13	リハビリ以外の予約（会議など）登録後、入力フォームで修正できること					
		14		14	ログイン者毎に設定画面から日付、病棟、グループ、患者、スタッフ等自由に設定変更し画面変更できること。					
		15		15	ログイン者毎に複数パターンスケジュールを設定できること。					
		1	スタッフスケジュール	1	担当患者から、患者を選択できること					
		2		2	入力した患者スケジュールを「ドラッグアンドドロップ」や「カットアンドペースト」で編集可能なこと					
		3		3	スタッフ毎の外來の予定合計単位数が確認できること					
		4		4	スタッフ毎の外來の予定合計人数が確認できること					
		5		5	スタッフの月間予定を確認できる画面があり、表示する曜日を選択できること					
		6		6	スタッフ月間予定画面からでも予約登録ができること					
		7		7	担当以外の患者の入力が可能なこと					
		8		8	担当患者以外の場合、視覚的に判別できること（色分け等）					
		9		9	リハビリ以外の予定（カンファ、会議等）の入力が行えること					
		10		10	スタッフ毎に複数の日付へ予定をコピーができること					
		11		11	複数人のスタッフを同時に表示する予定画面からも、個別リハビリ予定の入力ができること					
		1	職種・グループ別スケジュール	1	指定日の職種の動きが1画面でわかること					
		2		2	指定日のグループ（回復期、一般、外來等）の動きが1画面でわかること					
		3		3	グループの中で、単位調整（予定者、予定場所）等の変更が可能なこと					
		4		4	「ドラッグアンドドロップ」や「カットアンドペースト」で時間、予定者調整が可能なこと					
		5		5	担当患者以外の場合、視覚的に判別できること（色分け等）					
		1	患者スケジュール	1	カレンダー画面等にて患者の予定が一目でわかること					
		2		2	担当スタッフにて患者のフィルターができること					
		3		3	指定日のスタッフと選択した患者のリハビリ予定が時系列で表示されること					

【リハビリ】 大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考		
		4 「ドラッグアンドドロップ」や「カットアンドペースト」で時間調整が可能なこと					
		5 スケジュールを立てる際に算定上限日が表示されること					
		6 スケジュール画面上で選択患者の情報が参照できること					
		7 選択患者の診察科、診断名（疾患名）、術式が同時に表示できること					
		8 曜日と期間を指定して、一括登録ができること					
		9 カレンダーから複数日を選択し、一括登録ができること					
		10 スケジュール画面に担当スタッフの変更ができること					
		11 指定日のスタッフ毎、職種毎のスケジュールを印刷できること					
		12 期間指定の患者毎、スタッフ毎のスケジュールを印刷できること					
		13 スケジュール印刷画面では出力項目（職種名、スタッフ名、行為名称等）の設定ができること					
		14 予約表のプレビュー、印刷ができること					
		15 予約表を印刷した場合、印刷したことが画面上でわかるように表示できること					
		16 個人の月間予約表について、患者の名前に加え、I Dや読みが表示されること					
		17 予約表に反映される備考入力欄があること					
		8 リハビリ実施	1 実施管理	1 セラピスト毎、職種（理学、作業、言語）全体の実施状況が、視覚的に一目で確認できる（タイムスケジュール）画面であり、画面を切り替えずに入力ができること			
				2 1分単位での実施登録ができること			
				3 枠（20分等）単位での入力ができること			
		4 枠設定は、マスタにて変更が可能なこと					
		5 実施場所の入力がマスタから選択入力できること					
		6 実施行為が選択できること					
		7 実施単位が入力できること					
		8 実施時間が単位数と連動していること					
		9 実施時間が他セラピストと重複した場合、誰の何時と重複しているのか警告が表示されること					
		10 現在の単位数（日間、週間）が表示されていること					
		11 予定で立てた件数とそれを実施に反映した件数が表示されること					
		12 実施画面上にて画面を遷移することなく実施登録後に外来の疾患リハの単位数がリアルタイムに表示されること					
		13 また、上記の順番については並べ替えが可能なこと					
		14 難病リハ、がん患者、摂食機能療法、集団コミュニケーション、訪問リハビリ（医療保険）の管理ができること					
		15 疾患別（心大血管、脳血管、運動器、呼吸器、障害児）の管理ができること					
		16 集団（心大血管、集団コミュニケーション）の管理ができること					
		17 算定しない項目（基本診療のみ等）の管理ができること					
		18 訓練種目をマスタからチェック等にて容易に登録できること					
		19 訓練種目毎に、コメント（荷重や部位、詳細内容など）が記載できること					
		20 初回以降は、前回の訓練内容の継続ができること					
		21 実施時間毎に、実施コメントが入力できること					
		22 実施コメントは、3000文字（全角1500文字）まで入力ができること					
		23 実施コメント記載時、残りの入力可能文字数が表示され、確認しながら入力ができること					
		24 実施コメントは、過去のコメントを同画面で参照しながら入力できること					
		25 過去のコメント参照は、期間、療法種類及び療法士を指定し抽出できること					
		26 実施コメントは、各セラピスト毎の定型分から引用登録できること					
		27 コメントリストは、スクロールですべての文書が読めること					
		28 予約枠へのコメントの入力及び一旦削除することなく修正ができること					

【リハビリ】 大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考
		29 定型分は、他セラピストの定型分からも引用できること			
		30 定型分は、入力した実施コメントから引用して追加できること			
		31 入力した実施コメントをマスタ登録ボタンを押すだけでマスタに追加できること			
		32 実施コメントは、テンプレートからの引用ができること			
		33 テンプレートは、疾患区分別に管理できること			
		34 テンプレート引用については、現在の内容への上書き、先頭に挿入、末尾に挿入がシステムにて設定できること			
		35 実施コメントは、評価画面にて登録したデータを、テキスト形式で引用できること			
		36 評価データからの引用は、過去登録履歴から選択し、引用できること			
		37 評価データからの引用時は、評価結果の一部を選択し、選択した部分のみ引用できること			
		38 リハビリテーション記録には、シエマ機能があり、図、写真を貼りつけできること			
		39 実施内容及びリハビリテーション記録(シエマ含む)をWebブラウザで閲覧、印刷できること			
		40 リハビリテーション記録は版数管理ができ、修正履歴を表示できること			
		41 リハビリ以外の実施登録(会議など)を登録できること			
		42 登録済みのデータから次回のリハビリテーション予約登録ができること			
		43 予定から一括実施ができること			
		44 予定から1件毎の実施登録ができること			
		45 予定時間を変更して実施登録ができること			
		46 予定外からの実施登録ができること			
		47 担当者患者一覧から実施登録ができること			
		48 担当者患者一覧は全てフィルターできること			
		49 他セラピストが予定している患者の実施ができること			
		50 他セラピストが担当している患者の実施ができること			
		51 予定外にて実施する際、前回までの実施時間、場所等が同画面で表示され、参考にして登録ができること			
		52 実施する際、登録患者の同日の実施状況を確認しながら時間の登録ができること			
		53 時間、実施セラピストの変更はドラッグ&ドロップ、カット&ペーストにて容易に移動できること			
		54 スタッフ毎に別の日付から実施時間をコピーができること			
		55 疾患区分、実施コメント入力済、会計データ送信済の情報が、視覚的に判別できること(色分け等)			
		56 入力済みの実施コメントについて、一時保存内容か、確定内容かを一覧で判別できること(色分け等)			
		57 実施登録した実施情報は患者の登録データにマウスをあてるだけで表示されること			
		58 実施登録したカルテ情報は患者の登録データにマウスをあてるだけで表示されること			
		59 マウスの右クリックから登録したものを修正、削除、切り取り、貼り付け、取消ができること			
		60 他セラピスト担当患者の登録は、スタッフ毎に権限設定できること			
		61 入力済チェックボックスを設け、チェックを入れることにより会計未送信のアラート表示を行うこと			
		62 実施一覧表をプレビュー、印刷ができること			
		63 実施登録したカルテ情報について、記録内容のワード検索ができること			
		64 オータ送信の有無で患者の文字色を設定できること。			
	2 経過記録	1 実施画面にて選択した患者の経過記録画面を有すること			
		2 期間指定が任意で行えること			
		3 横に時系列で表示し、実施がある際には○表示で視覚的に判断できること			
		4 実施及び予定は別列で表示され、比較が容易にできること			
		5 計画書の算定についても表示され、クリックにより詳細が確認できること			
9 総合実施計画書	1 総合実施計画書	1 総合実施計画書及び実施計画書の作成ができ、書式23-1,23-2,23-3,23-4に対応できること			

【リハビリ】 大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考
		2 履歴管理されており、過去データの参照がいつでも行えること			
		3 作成状況を担当スタッフ別にて一覧表示できること			
		4 職種（医師、理学療法士・作業療法士・言語聴覚療法士、看護師、医療福祉士）別に進捗が管理できること			
		5 作成時、テンプレートを呼び出して表示する機能があること			
		6 ADL情報（FIM、BI）は任意の評価日の評価データを自動反映できること			
		7 ワープロ入力欄に関してはマスタにて定型文が作成可能なこと			
		8 計画書の作成を行わなくても、リハビリテーション総合計画評価料の算定ができること			
		9 入力する職種（医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士）毎に、入力済の進捗確認が入力でき、一覧で			
		10 一覧はスタッフ、病棟、外来でフィルターできること			
		11 一覧画面から未入力のをダブルクリックすることにより、入力画面へリンクできること			
		12 プレビュー、印刷、エクセルへの出力ができること			
		13 Webシステム等により、リハビリシステムがインストールされていない端末からも入力、印刷が可能であること			
		10 評価表、文書管理	1 評価表	1 履歴管理されており、過去データの参照がいつでも行えること	
2 前回入力分のコピーができること					
3 全ての評価表においてプレビュー、印刷、エクセル出力ができること					
4 以下の評価表が用意されていること ・BARTHEL INDEX・FIM・反射・IADL・WAB失語症・SLTA・麻痺・不随意・知覚障害・関節可動域・基本動作・歩行能力・精神・心理面・ST基本情報・コミュニケーションADL・構音器官検査・構音症状 また用意されていることに加え、随時追加や表示順の変更等が可能な					
5 K-ABC検査、S-S法、PVT-R、質問-応答関係検査 他小児言語検査に関する評価表が用意できること					
6 現行の文書管理表を取り込んで使用できること					
7 ADL（・BARTHEL INDEX・FIM）に関しては、前回評価との比較をグラフ表示できること					
8 各評価毎に、指定された期間での評価データをExcelへ出力できること					
9 評価表と予約表がリンクし、評価表の作成日が一目で分かること					
10 評価画面をマスタ管理できること					
11 評価画面の項目もマスタ管理でき、追加、修正できること					
12 マスタにて追加した評価項目も、Excelへ出力できること					
13 評価項目の記載内容を、実施コメントへ展開できること					
14 評価診察管理表で評価診察の管理ができること。					
2 文書管理	1 ユーザーがテンプレート（Excel）を作成し、作成したテンプレートを用いてデータの入力・管理が行えること				
	2 履歴管理されており、過去データの参照がいつでも行えること				
	3 作成した評価表はプレビュー、印刷、エクセル出力ができること				
	4 テンプレートはユーザーが容易に内容変更可能なこと				
	5 新たに作成したテンプレートはユーザーが容易に追加可能なこと				
	6 文書管理での登録後、そのまま次の文書を開くことができること				
	7 同時に複数枚の文書を開くことができること				
	8 入力時、属性データのリンクが設定できること （患者ID、氏名、性別、生年月日、年齢、診療科、日付、疾患名、医師、担当PT/OT/ST、記載者、郵便番号、TEL、FAX、住所、紹介先）				
	9 学年の表示ができること				
	10 画像データもテンプレートに挿入できること				
	11 諸記録は版数管理ができ、修正履歴を表示できること。				
	12 諸記録には、PDFファイルなど、Word、Excel以外の文書も保存できること。				
	3 評価表診察管理表		1 月別の該当患者一覧の表示がワンクリックでできること。		
2 評価表診察管理表の一覧と個人のカルテが連動して情報が共有でき表示されること					

[リハビリ] 大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考	
		3 評価診察管理表の担当者が各職種複数名表示できること				
11 一覧表	1 各種一覧表	1 以下の該当患者を一覧表示できること 処方箋一覧、担当患者一覧、除外患者一覧、来院者一覧、予定者一覧、算定期間終了者一覧、実施者一覧、保険情報一覧、未実施施設名一覧				
		2 一覧に表示する項目、条件、表示順をある程度（下記条件など）任意に設定できること （年齢や性別等の基本情報、保険種別、疾患区分や発症日等の依頼情報、実施項目や初回実施日、BI、FIMの初回と最終の点数等）				
		3 検索条件については、よく使用する検索条件を、マスタ登録することができ、抽出が容易におこなえること。				
	2 病名一覧表	1 指定日時点での現在有効な病名を、疾患区分、病名、主治医などでフィルターし一覧表示できること				
		2 病名はあいまい検索（【骨折】を含むなど）ができること				
		3 診察日を基準に、期間を指定して、指定期間に登録された病名での検索ができること				
		4 来院区分、担当者でもフィルターができること				
		5 一覧表からダブルクリックすることにより処方箋画面へリンクできること				
		6 プレビュー、印刷、エクセルへの出力ができること				
	12 帳票・出力	1 日報	1 日報に関しては、以下の帳票が出力できること。また、職種毎に出力可能なこと （報酬別）業務日誌、病院日誌、スタッフ／行為別、行為別、患者別一覧、保険／患者別一覧、行為／患者別一覧、スタッフ／患者別一覧、スタッフ／患者別一覧（時間順）			
2 印刷日を出力するかどうか設定できること						
3 プレビュー、印刷ができること						
4 印刷後は、自動でプレビュー画面を閉じること						
5 フォルダ、ファイル名を指定して、Excel形式での保存ができること						
6 出力する項目の印刷順をマスタ設定にて変更できること						
2 月報		1 月報に関しては、以下の帳票が出力できること。また、職種毎に出力可能なこと リハビリテーション月報、（診療報酬別）月報、スタッフ／行為別、行為別、診療科／行為別、平均単位表				
		2 印刷日を出力するかどうか設定できること				
		3 入力項目毎に、表示、非表示が設定できること				
		4 入力項目毎に、合計へ集計するかどうか設定ができること				
		5 人数出力項目は、延べ人数か実人数かの選択ができること				
		6 出力する項目の印刷順をマスタ設定にて変更できること				
		7 データがない項目を出力するかしないか選択できること。				
		8 プレビュー、印刷ができること				
		9 フォルダ、ファイル名を指定して、Excel形式での保存ができること				
3 年報		1 年報に関しては、以下の帳票が出力できること。また、職種毎に出力可能なこと リハビリテーション月報、（診療報酬別）月報、スタッフ／行為別、行為別、診療科／行為別				
		2 印刷日を出力するかどうか設定できること				
		3 入力項目毎に、表示、非表示が設定できること				
		4 入力項目毎に、合計へ集計するかどうか設定ができること				
		5 人数出力項目は、延べ人数か実人数かの選択ができること				
		6 出力する項目の印刷順をマスタ設定にて変更できること				
		7 データがない項目を出力するかしないか選択できること。				
		8 プレビュー、印刷ができること				
		9 フォルダ、ファイル名を指定して、Excel形式での保存ができること				
4 実施表		1 指定された患者の1ヶ月間の単位数が、カレンダー形式で印刷できること				
		2 単位数は、理学療法、作業療法、言語療法別に印刷され、必要に応じて合計単位数も表示されること				
		3 実施した訓練項目の出力有無を選択できること				

[リハビリ] 大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考
		4	訓練時間の開始、終了の出力有無を選択できること		
		5	スタッフを指定し、担当患者を一括印刷できること		
		6	患者指定以外でも、月と病棟を指定して、在籍病棟での患者、単位一覧が表示されること		
		6	月別人数表		
		1	疾患分類毎に、1ヶ月間のリハビリ実施人数表が作成できること		
		2	週別、曜日別の平均の確認ができること		
		3	外来別に印刷することができること		
		4	職種別にフィルターできること		
		5	Excelファイルへ保存できること		
		6	スタッフを指定し、担当患者を一括印刷できること		
		7	疾患別集計表		
		1	指定した期間の疾患別集計表が作成できること（CVA、頸部骨折、廃用症候群等）		
		2	マスタにて設定した病名分類毎に日数、単位数、点数が表示されること		
		1.3	その他		
1	データ出力				
1	期間指定し、以下の実施データを情報をエクセルに出力できること ・患者ID・氏名・実施日・区分・診療科・実施スタッフ・実施場所・職種・区分・実施行為・算定内容・単位数・点数・住所、処方日、開始日、学年、診断名、所属、紹介元				
2	期間指定し、以下の予定データを情報をエクセルに出力できること ・患者ID・氏名・予定日・予定開始時間・予定終了時間・予定スタッフ・予定行為・予定単位数・予定場所				
3	メニュー内にリハビリカルテのダイレクト印刷ボタンを設定すること				
2	他システム連携				
1	電子カルテ、オーダーシステム、医事システムとの接続が行えるシステムであること				
2	オーダー情報（処方、指示）の取り込みができるシステムであること				
3	オーダー患者の一覧表示ができること				
4	一覧から、担当者決定、受理などの処理ができること				
5	未確認のオーダーに対して、PopUpにて警告表示ができること				
6	電子カルテシステムまたは医事システムにリハビリ実施内容を送信できるシステムであること				
7	電子カルテシステムまたは医事システムに会計情報を送信できるシステムであること				
8	会計情報の送信漏れがないようチェック機能があること				
9	会計情報が一括送信ができること				
10	電子カルテシステムにリハビリカルテ記事を送信する事ができること				
11	リハビリ実施記録、リハビリ会計情報を別々に進捗（送信）管理できること				
12	リハビリ実施記録、リハビリ会計情報それぞれ未送信分、送信後修正のみ選択し再送信が行えること。				
13	医事システムより患者属性の取り込みができるシステムであること				
14	電子カルテで登録した医師の評価診察日が、本システム内で同患者の評価管理表とリンクできること				
15	リハビリ予約情報の送信がおこなえること				
16	医師のスケジュール枠で登録した診察予約情報の送信がおこなえること				
17	リハビリ以外の予約情報の受信がおこなえること。				
18	電子カルテ／オーダーシステムから利用者情報（職員ID、職員名、職種等）の取り込みができるシステムであること				
3	WEB				
1	Webブラウザ（Edge(IEモード)）にてリハビリシステムがインストールされていない端末からでもリハビリ情報参照することができること				
2	選択した患者の週間の予定・実施・実施内容をカレンダーにて参照できること				
3	週間カレンダーの予定・実施・実施内容の表示は選択できること				
4	選択した患者の1ヶ月間の実施内容を時系列に参照できること 時間、行為、スタッフ、単位数、実施場所、訓練内容、実施コメントが表示されること				
5	選択した患者の1ヶ月間の予定を時系列に参照できること 時間、行為、スタッフ、単位数、実施場所が表示されること				
6	評価及び文書管理にて作成した文書等を、印刷イメージで参照できること				
7	帳票名称、評価日から参照したい文書を選択できること				
8	総合実施計画書は、医師や看護師等と共同作成ができること				

【リハビリ】 大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考	
		9 職種毎に入力箇所を色分けし、どこを入力すべきが視覚的に判別できること				
		10 履歴管理されており、過去データの参照がいつでも行えること				
		11 カンファレンスの入力、参照ができること				
		12 カンファレンスは、診療科、依頼医師にて一覧表示し、記載済の判別ができること				
		13 BI、FIMは入力、レビュー、印刷ができること				
		14 予約の登録ができること				
		15 日付、患者を選択し、時間、行為、単位、場所を入力し予約登録ができること				
		16 予約からの実施登録、予約外からの実施登録ができること				
		17 日付、患者を選択し、時間、行為、単位、場所、訓練項目を入力し実施登録ができること				
		18 実施コメントの記入も行えること				
		19 Webシステムを起動する際、どの画面を初期表示にするか、設定できること				
	4 タッチボード	1 タッチボード機能を有していること				
		2 タッチボード機能は、円グラフ、棒グラフ、折れ線グラフ等で目で分析ができる画面であること				
		3 タッチボード画面は、各スタッフ毎に設定ができること				
		4 タッチボード画面は、テンプレートを用いて作成できること				
		5 タッチボード画面は、40種類以上の項目から選択ができること				
		6 タッチボード画面設定は、ドラッグ&ドロップにて容易に設定できること				
		7 タッチボード画面は、最大9つの項目を1画面に表示できること				
		8 見易さのため、1つの項目を大きく表示したりすることができること				
		9 タッチボード画面から詳細データ画面へ遷移できること				
		10 権限により、選択できるタッチボードが制限できること				
14	データ移行	1	データ移行	1 既存リハビリ管理システム内の下記的全マスタを新システムに移行すること。 ※データ移行作業に必要な既存システム側に発生するデータ抽出費用は見積金額に含めること。 患者、保険、病名、術式、行為、算定、診療科、病棟区分、病棟、訓練場所、転入出区分、転入出先、処方項目、リハカルテ疾患別定型文、リハカルテ担当者別定型文、総合実施計画書 定型立		
		2	データ移行	2 既存リハビリ管理システム内の下記的全データを新システムに移行すること。 ※データ移行作業に必要な既存システム側に発生するデータ抽出費用は見積金額に含めること。 患者基本情報、患者移動歴、予約情報(未来分も)、実施情報、評価表(全種類)、総合実施計画書、文書管理、リハカルテ、経過記録、添書		
		3	データ移行	3 評価診察管理表とプロフィールがデータ移行されること		